

## 第4章 文化芸術

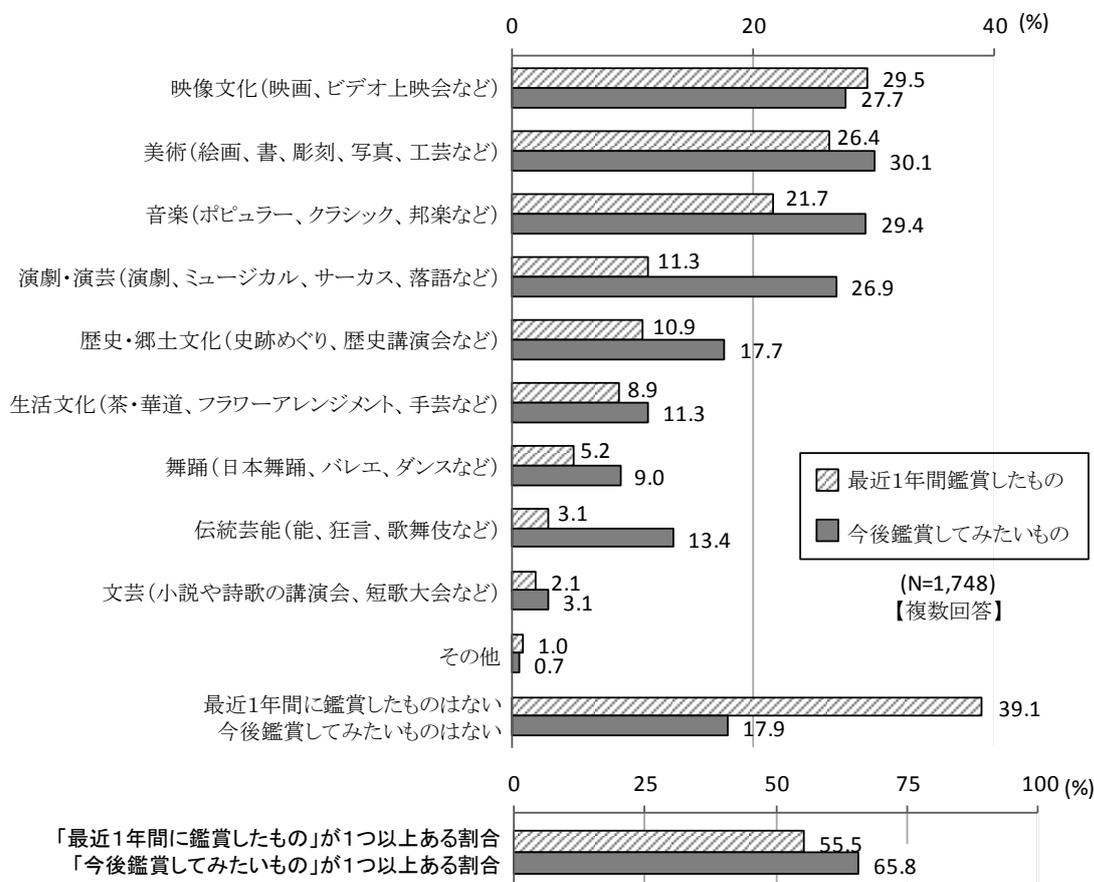
### 4-1 文化芸術の鑑賞や活動

#### (1) 文化芸術の鑑賞経験と今後の意向

鑑賞経験、今後の鑑賞意向とも、「映像文化」、「美術」、「音楽」が上位となっている。

問14 次の中で、あなたが(A)最近(1年程度の間)に鑑賞したものはありますか(テレビ・CD・DVDなど自宅での鑑賞を除きます)。

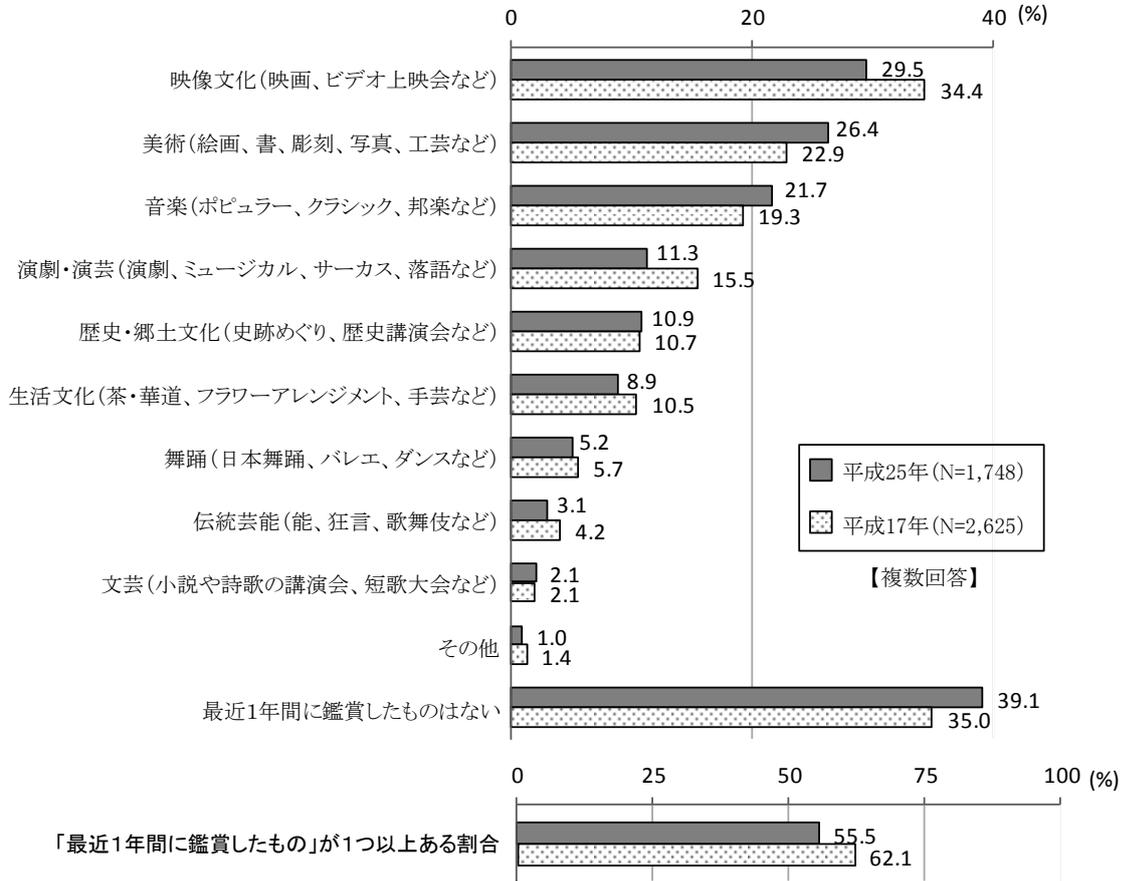
また、(B)今後引き続き、あるいは新たに鑑賞してみたいと思うものは何ですか。それぞれについてあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



(1) - 1 文化芸術の鑑賞経験

鑑賞経験では、前回調査比と比較すると「映像文化」、「演劇・演芸」はポイントを下げているが、「美術」、「音楽」はポイントが上がっている。

●図4-1 最近の鑑賞経験(前回調査比較)



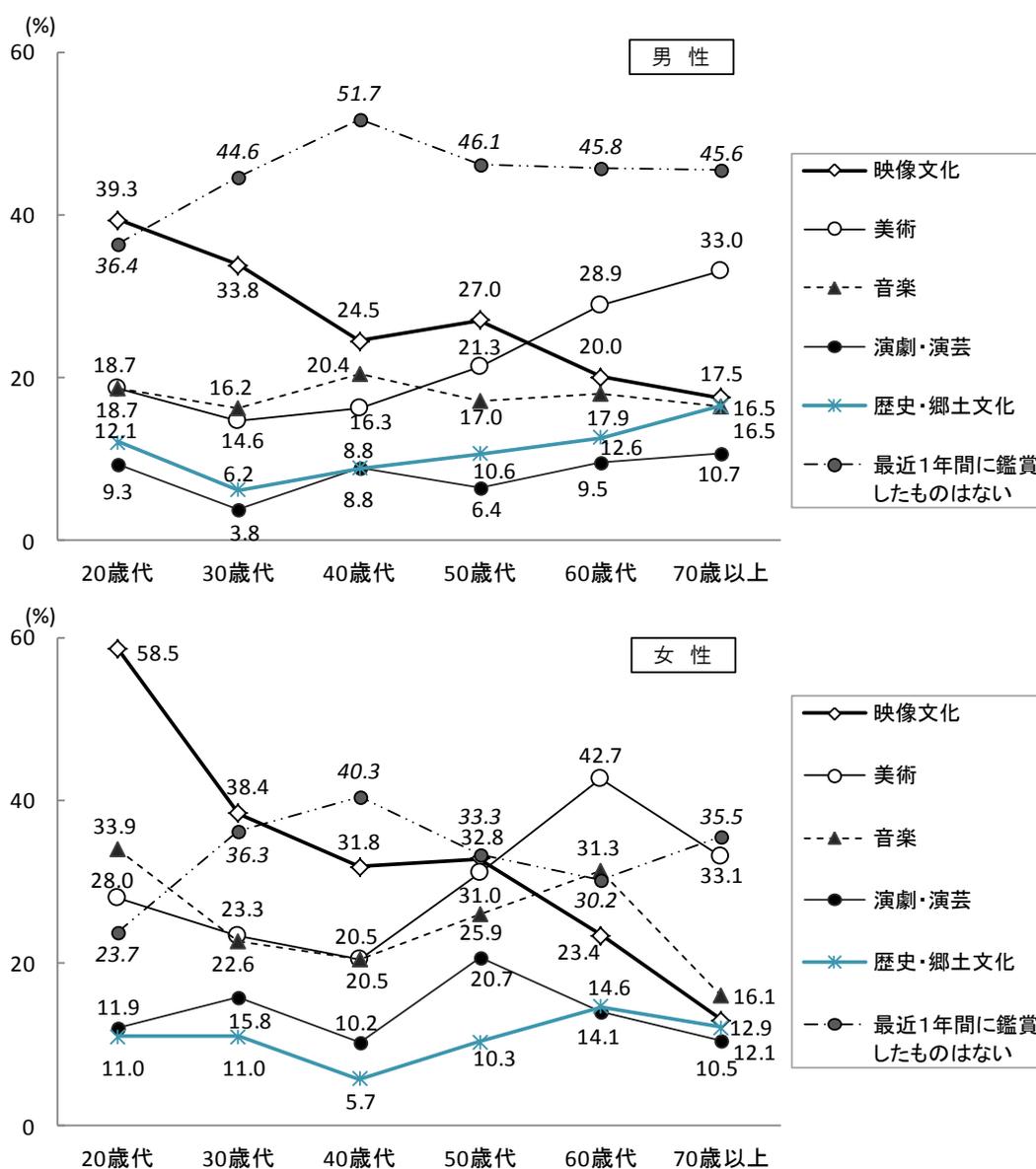
◆属性別特徴

【性別】ほとんどの項目で女性の割合が高い。特に「映像文化」「美術」「音楽」「生活文化」で男性との差が大きい。男性は「最近1年間に鑑賞したものはない」が45.5%と高く、女性を12ポイント上回っている。

【年齢別】「音楽」は20歳代で、「映像文化」は30歳代以下で、「美術」および「生活文化」は60歳以上の年齢層でそれぞれ高くなっている。また、「最近1年間に鑑賞したものはない」は40歳代でやや高い。

	標本数 (票)	最近1年間に鑑賞したもの (%)											
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	文歴化史・郷土	その他	最近1年間に鑑賞したものはない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	26.4 (462)	21.7 (380)	11.3 (197)	5.2 (91)	3.1 (55)	8.9 (156)	29.5 (515)	2.1 (36)	10.9 (190)	1.0 (17)	39.1 (684)	5.4 (94)
性別													
男性	818	22.2	17.8	8.1	3.7	1.7	3.3	26.4	1.7	11.0	0.7	45.5	6.6
女性	930	30.1	25.2	14.1	6.6	4.4	13.9	32.2	2.4	10.8	1.2	33.5	4.3
年齢別													
20歳代	225	23.6	26.7	10.7	7.1	1.8	5.3	49.3	1.3	11.6	0.4	29.8	4.9
30歳代	276	19.2	19.6	10.1	4.0	1.1	4.7	36.2	1.4	8.7	0.7	40.2	6.2
40歳代	323	18.6	20.4	9.6	4.3	1.2	7.1	28.5	1.2	7.1	0.6	45.5	4.6
50歳代	315	26.7	21.9	14.3	2.9	3.5	8.3	30.2	1.0	10.5	1.0	39.0	5.1
60歳代	382	35.9	24.6	11.8	5.2	5.8	12.8	21.7	2.6	13.6	1.6	38.0	4.5
70歳以上	227	33.0	16.3	10.6	9.3	4.8	14.5	15.0	5.3	14.1	1.3	40.1	7.9

●図4-2 性別×年齢別にみた最近の鑑賞経験(上位5項目)

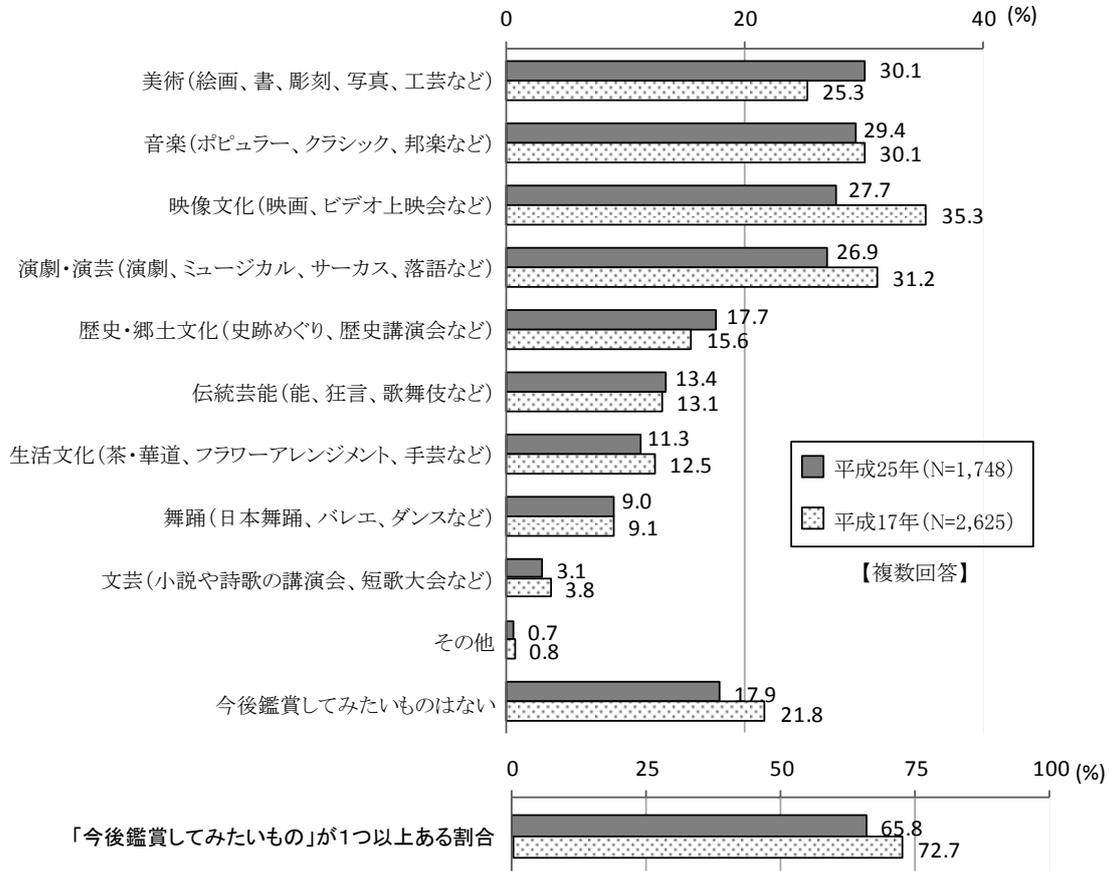


	標本数 (票)	最近1年間に鑑賞したもの (%)											無回答	
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	文歴史・郷土	その他	ものに鑑賞はなし		最近1年間
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	26.4 (462)	21.7 (380)	11.3 (197)	5.2 (91)	3.1 (55)	8.9 (156)	29.5 (515)	2.1 (36)	10.9 (190)	1.0 (17)	39.1 (684)	5.4 (94)	
性別×年齢別	男性:20歳代	107	18.7	18.7	9.3	7.5	-	0.9	39.3	1.9	12.1	-	36.4	5.6
	男性:30歳代	130	14.6	16.2	3.8	-	-	0.8	33.8	-	6.2	-	44.6	8.5
	男性:40歳代	147	16.3	20.4	8.8	4.8	0.7	3.4	24.5	-	8.8	0.7	51.7	3.4
	男性:50歳代	141	21.3	17.0	6.4	3.5	2.1	3.5	27.0	2.1	10.6	0.7	46.1	9.9
	男性:60歳代	190	28.9	17.9	9.5	2.6	3.2	3.7	20.0	2.1	12.6	1.6	45.8	4.7
	男性:70歳以上	103	33.0	16.5	10.7	4.9	3.9	7.8	17.5	4.9	16.5	1.0	45.6	8.7
	女性:20歳代	118	28.0	33.9	11.9	6.8	3.4	9.3	58.5	0.8	11.0	0.8	23.7	4.2
	女性:30歳代	146	23.3	22.6	15.8	7.5	2.1	8.2	38.4	2.7	11.0	1.4	36.3	4.1
	女性:40歳代	176	20.5	20.5	10.2	4.0	1.7	10.2	31.8	2.3	5.7	0.6	40.3	5.7
	女性:50歳代	174	31.0	25.9	20.7	2.3	4.6	12.1	32.8	-	10.3	1.1	33.3	1.1
女性:60歳代	192	42.7	31.3	14.1	7.8	8.3	21.9	23.4	3.1	14.6	1.6	30.2	4.2	
女性:70歳以上	124	33.1	16.1	10.5	12.9	5.6	20.2	12.9	5.6	12.1	1.6	35.5	7.3	

(1) - 2 今後の文化芸術の鑑賞意向

鑑賞意向の上位では、前回調査と比較すると「美術」は5ポイント近く上がっているが、「映像文化」、「演劇・演芸」は大きくポイントを下げている。

●図4-3 今後の鑑賞意向(前回調査比較)



◆属性別特徴

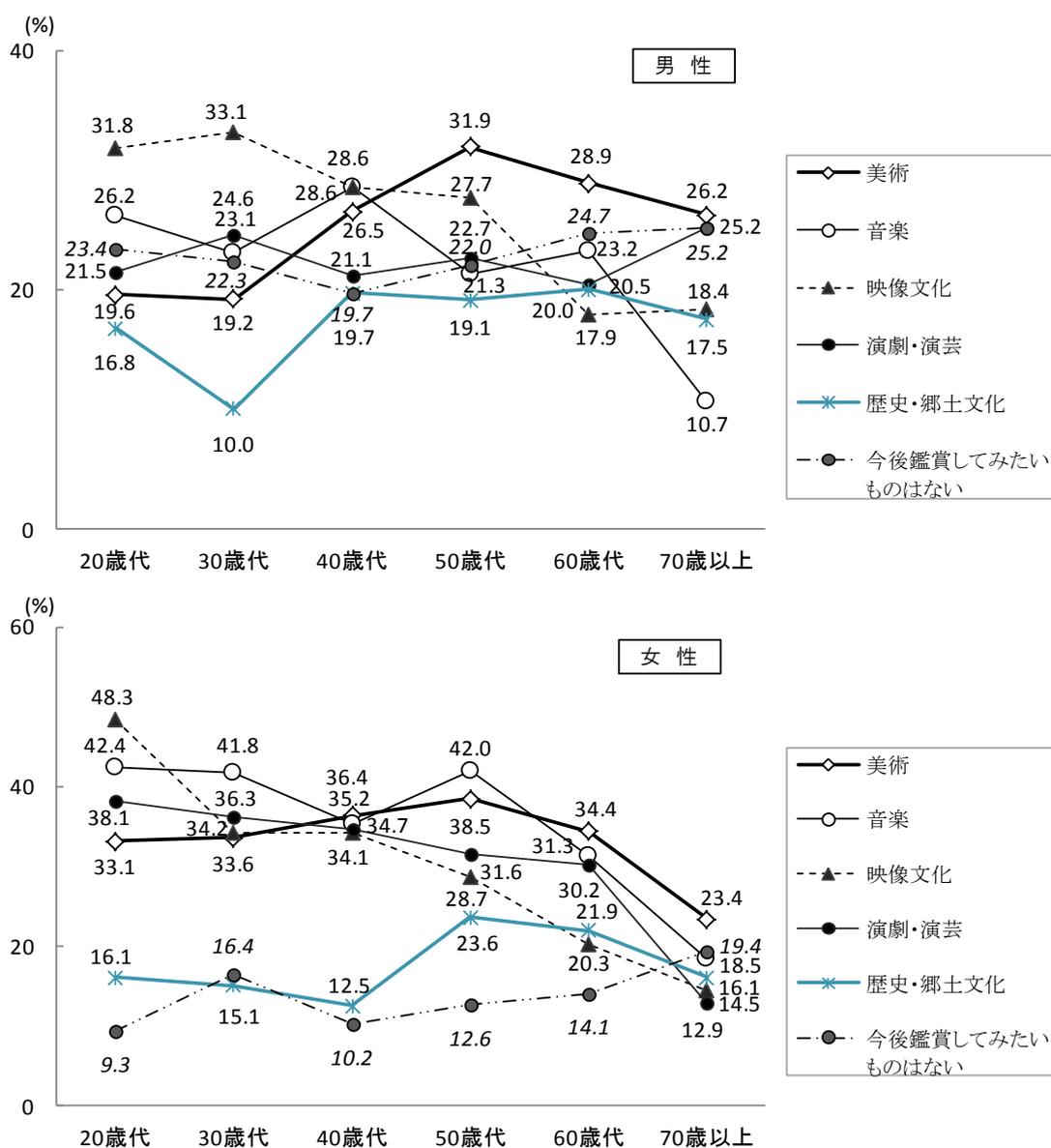
【性別】鑑賞経験と同様にすべての項目で女性の割合が高い。特に「音楽」「演劇・演芸」「生活文化」「舞踊」などで男性との差が大きい。男性は「今後鑑賞してみたいものはない」が女性より高い。

【年齢別】

・「映像文化」や「音楽」「演劇・演芸」は20・30歳代で高く、年齢が上がるほど低くなる傾向にある。特に「映像文化」では20歳代の4割に対して70歳以上では1割台と世代による差が大きい。  
 ・「美術」は50歳代で、「今後鑑賞してみたいものはない」は70歳以上でそれぞれやや高い。

	標本数 (票)	今後の鑑賞意向 (%)											
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	文歴史・郷土	その他	の は な い	今 後 鑑 賞 し た い
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	30.1 (526)	29.4 (514)	26.9 (471)	9.0 (158)	13.4 (234)	11.3 (197)	27.7 (485)	3.1 (54)	17.7 (309)	0.7 (13)	17.9 (313)	16.2 (284)
性別													
男性	818	25.9	22.6	22.4	5.0	10.4	3.9	25.8	2.8	17.5	-	22.9	18.3
女性	930	33.8	35.4	31.0	12.6	16.0	17.7	29.5	3.3	17.8	1.4	13.5	14.4
年齢別													
20歳代	225	26.7	34.7	30.2	13.3	13.3	16.9	40.4	4.0	16.4	0.4	16.0	13.3
30歳代	276	26.8	33.0	30.8	9.8	11.2	10.9	33.7	1.1	12.7	1.4	19.2	17.4
40歳代	323	31.9	32.2	28.5	8.7	12.7	9.3	31.6	1.2	15.8	0.3	14.6	15.2
50歳代	315	35.6	32.7	27.6	7.6	16.2	9.5	28.3	2.9	21.6	1.0	16.8	14.3
60歳代	382	31.7	27.2	25.4	7.9	15.7	13.6	19.1	5.0	20.9	1.0	19.4	14.1
70歳以上	227	24.7	15.0	18.5	8.4	9.3	7.5	16.3	4.4	16.7	-	22.0	25.6

●図4-4 性別×年齢別にみた今後の鑑賞意向(上位5項目)

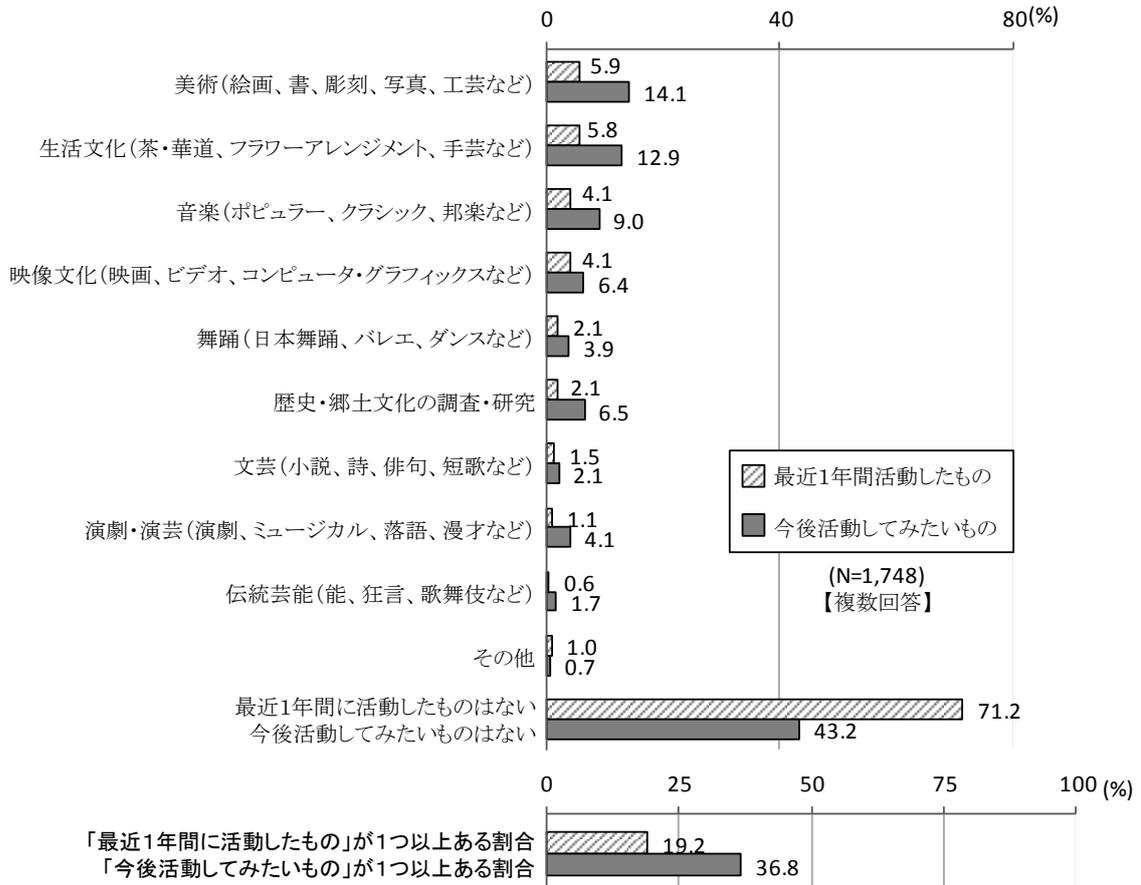


	標本数 (票)	今後の鑑賞意向 (%)												
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	文歴史・郷土	その他	今後鑑賞してみたいものはない	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	30.1 (526)	29.4 (514)	26.9 (471)	9.0 (158)	13.4 (234)	11.3 (197)	27.7 (485)	3.1 (54)	17.7 (309)	0.7 (13)	17.9 (313)	16.2 (284)	
性別×年齢別	男性:20歳代	107	19.6	26.2	21.5	11.2	15.0	7.5	31.8	4.7	16.8	-	23.4	15.0
	男性:30歳代	130	19.2	23.1	24.6	2.3	6.2	5.4	33.1	-	10.0	-	22.3	20.8
	男性:40歳代	147	26.5	28.6	21.1	6.1	10.9	4.1	28.6	1.4	19.7	-	19.7	18.4
	男性:50歳代	141	31.9	21.3	22.7	2.8	13.5	3.5	27.7	2.8	19.1	-	22.0	14.9
	男性:60歳代	190	28.9	23.2	20.5	5.8	9.5	3.2	17.9	4.2	20.0	-	24.7	15.8
	男性:70歳以上	103	26.2	10.7	25.2	1.9	7.8	-	18.4	3.9	17.5	-	25.2	28.2
	女性:20歳代	118	33.1	42.4	38.1	15.3	11.9	25.4	48.3	3.4	16.1	0.8	9.3	11.9
	女性:30歳代	146	33.6	41.8	36.3	16.4	15.8	15.8	34.2	2.1	15.1	2.7	16.4	14.4
	女性:40歳代	176	36.4	35.2	34.7	10.8	14.2	13.6	34.1	1.1	12.5	0.6	10.2	12.5
	女性:50歳代	174	38.5	42.0	31.6	11.5	18.4	14.4	28.7	2.9	23.6	1.7	12.6	13.8
	女性:60歳代	192	34.4	31.3	30.2	9.9	21.9	24.0	20.3	5.7	21.9	2.1	14.1	12.5
	女性:70歳以上	124	23.4	18.5	12.9	13.7	10.5	13.7	14.5	4.8	16.1	-	19.4	23.4

(2) 文化芸術の活動経験と今後の意向

活動経験では、「最近1年間に活動したものがない」人が7割を超えている。  
 今後の活動意向では、「美術」、「生活文化」、「音楽」が上位となっている。

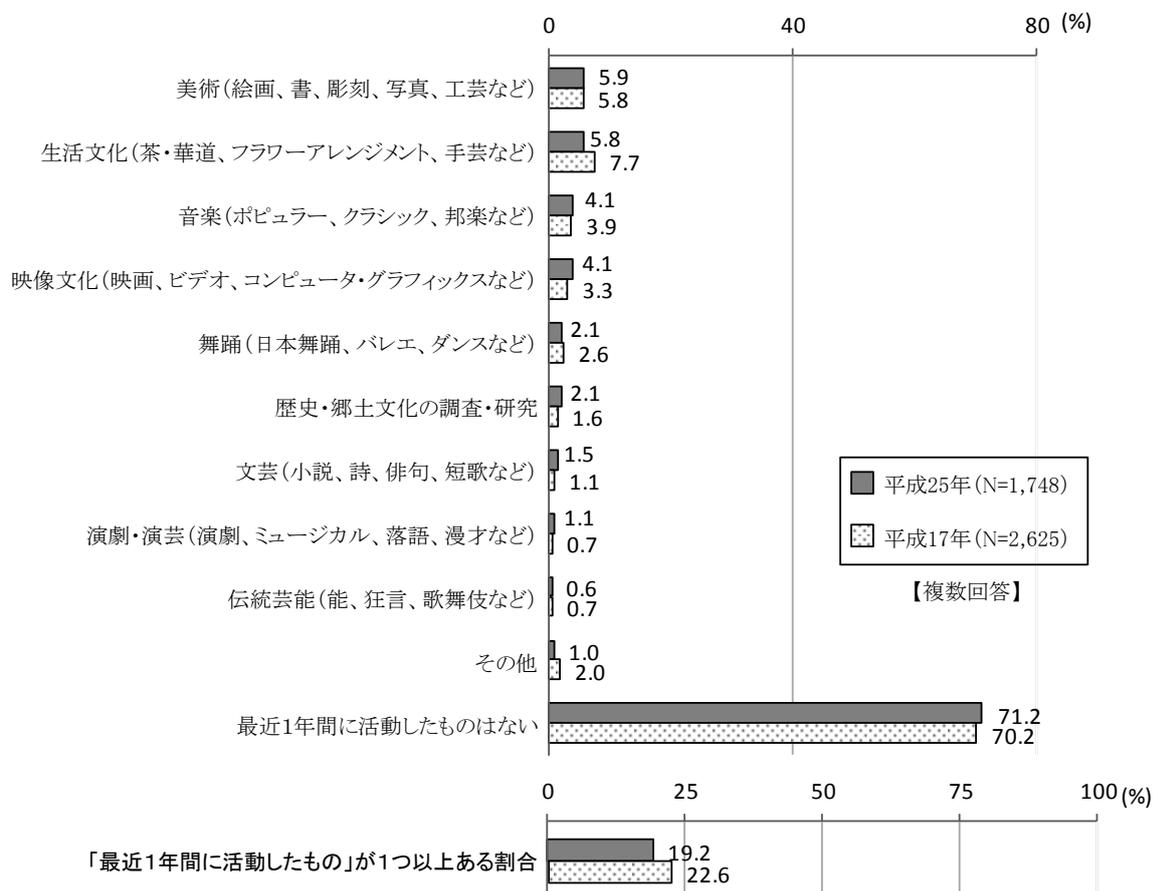
問15 次の中で、あなたが(A)最近(1年程度の間に)実際に活動したものはありますか。  
 また、(B)今後引き続き、あるいは新たに活動してみたいと思うものは何ですか。  
 それぞれについてあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



(2) - 1 文化芸術の活動経験

活動経験の上位では、「美術」、「音楽」、「映像文化」で前回調査を上回っている。  
一方で、1年間何も活動しなかった人も少し増えている。

●図4-5 最近の活動経験(前回調査比較)



◆属性別特徴

【性別】ほとんどの項目で女性の割合が高く、特に「生活文化」で男性との差が大きい。男性は「最近1年間に活動したものはなし」が75.6%と高く、女性を8.3ポイント上回っている。

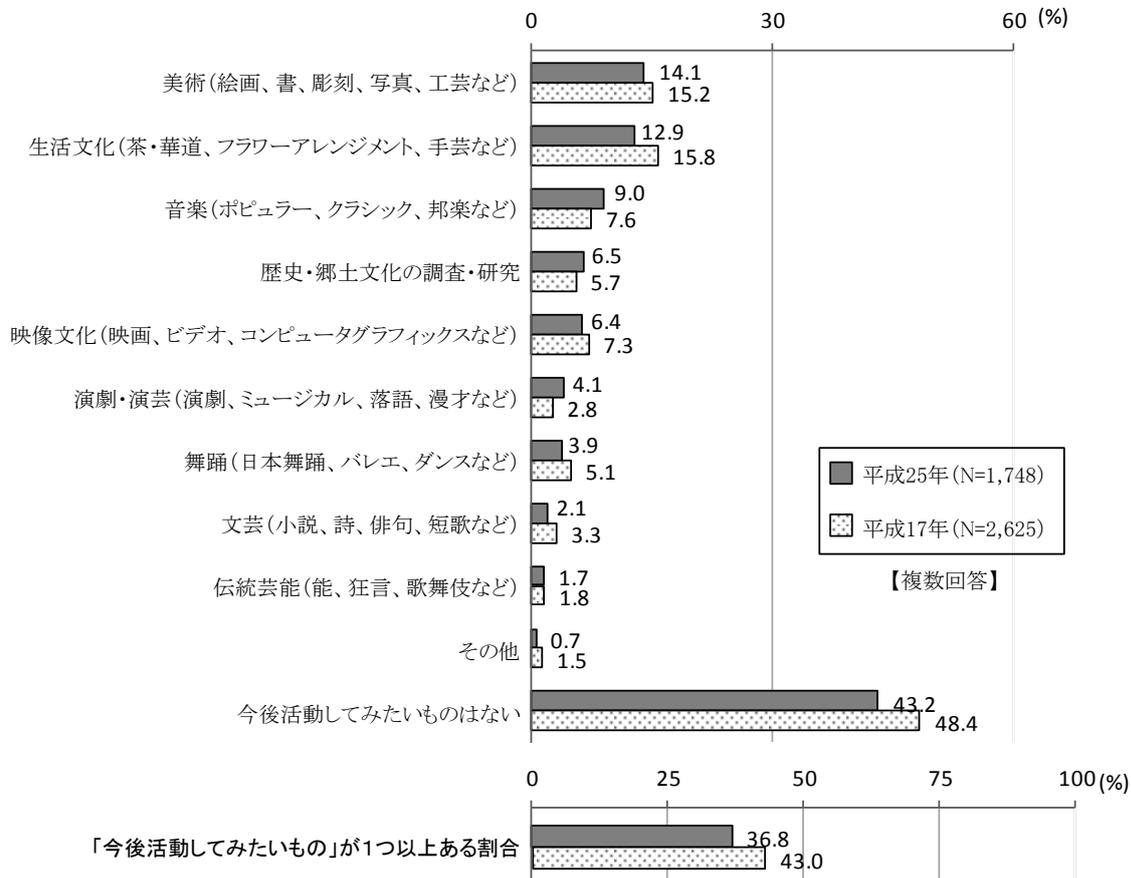
【年齢別】「美術」は20歳代と60歳以上で、「映像文化」は20歳代でそれぞれ高くなっている。また、「最近1年間に活動したものはなし」が40歳代で8割と高い。

	標本数 (票)	最近1年間に活動したもの (%)											
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	・文歴 研化史 究の・ 調郷 査士	その他	もに最 の活近 は動1 なし年 いた間	無 回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	5.9 (104)	4.1 (72)	1.1 (19)	2.1 (37)	0.6 (11)	5.8 (101)	4.1 (71)	1.5 (26)	2.1 (36)	1.0 (18)	71.2 (1,244)	9.6 (168)
性別													
男性	818	5.1	2.9	0.7	1.2	0.9	1.0	3.1	1.1	2.9	0.9	75.6	10.0
女性	930	6.7	5.2	1.4	2.9	0.4	10.0	4.9	1.8	1.3	1.2	67.3	9.2
年齢別													
20歳代	225	8.0	7.1	2.7	3.6	0.9	4.0	10.7	1.8	1.3	0.9	66.2	9.3
30歳代	276	3.6	2.5	0.4	0.7	-	4.3	2.9	1.1	0.7	0.7	76.1	11.6
40歳代	323	2.8	3.1	-	1.5	-	5.0	1.5	0.3	0.9	-	79.3	8.7
50歳代	315	3.8	3.8	0.6	1.3	0.3	6.3	3.2	0.6	2.2	0.3	74.6	7.3
60歳代	382	9.2	5.0	1.3	2.9	1.6	7.3	4.7	2.4	4.7	2.1	65.2	9.4
70歳以上	227	8.8	3.5	2.2	3.1	0.9	7.0	2.6	3.1	1.3	2.2	63.9	12.3

(2) - 2 今後の文化芸術の活動意向

活動意向の上位では、「音楽」「歴史・郷土文化」「演劇・演芸」が前回調査と比較して高くなっている。

●図4-6 今後の活動意向(前回調査比較)



◆属性別特徴

【性別】「生活文化」「美術」など6項目で女性の割合が高く、特に「生活文化」では18.5ポイントの差があり、男性を大きく上回っている。一方、「今後活動してみたいものはない」は男性が5割と、女性より10ポイント以上高い。

【年齢別】「生活文化」「音楽」「映像文化」は20歳代で最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向にある。また、「今後活動してみたいものはない」は活動経験と同様40歳代でやや高い。

	標本数 (票)	今後活動してみたいもの (%)											無回答
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	・文歴 研究の 調査士	その他	のて今 はみ後 ないた い動 もし	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	14.1 (246)	9.0 (158)	4.1 (71)	3.9 (68)	1.7 (30)	12.9 (226)	6.4 (112)	2.1 (36)	6.5 (114)	0.7 (12)	43.2 (755)	20.0 (350)
性別													
男性	818	11.4	8.1	4.4	2.1	1.6	3.1	6.5	1.6	7.8	0.5	49.0	22.1
女性	930	16.5	9.9	3.8	5.5	1.8	21.6	6.3	2.5	5.4	0.9	38.1	18.2
年齢別													
20歳代	225	15.1	12.9	4.9	5.3	0.9	16.0	11.1	2.7	4.9	0.9	44.4	14.2
30歳代	276	16.3	11.2	5.8	6.2	1.8	15.9	8.0	1.1	3.3	0.7	45.3	14.9
40歳代	323	11.8	8.4	2.2	2.8	0.6	13.0	7.1	0.6	5.6	0.3	47.1	18.6
50歳代	315	14.3	9.2	3.8	3.2	2.2	14.3	6.0	1.6	8.6	-	41.9	20.3
60歳代	382	16.2	8.9	4.5	3.7	3.1	12.0	4.5	2.9	8.9	1.6	40.3	20.7
70歳以上	227	9.7	3.5	3.5	2.6	0.9	5.7	2.6	4.0	6.6	0.4	40.5	32.6

●図4-7 性別、性別×年齢別にみた今後の活動意向(上位4項目)

(%)

		1位	2位	3位	4位	今後活動してみたいものはない
全体 (N=1748)		美術 14.1	生活文化 12.9	音楽 9.0	歴史・郷土文化の調査・研究 6.5	43.2
性別	男性 (N=818)	美術 11.4	音楽 8.1	歴史・郷土文化の調査・研究 7.8	映像文化 6.5	49.0
	女性 (N=930)	生活文化 21.6	美術 16.5	音楽 9.9	映像文化 6.3	38.1
性別×年齢	男性：20歳代 (N=107)	音楽／映像文化 11.2		美術 10.3	演劇・演芸 7.5	54.2
	男性：30歳代 (N=130)	音楽 11.5	美術 10.8	映像文化 6.9	演劇・演芸 6.2	52.3
	男性：40歳代 (N=147)	美術 8.8	音楽／映像文化／歴史・郷土文化の調査・研究 7.5			56.5
	男性：50歳代 (N=141)	美術 13.5	音楽／歴史・郷土文化の調査・研究 7.8		映像文化 7.1	44.7
	男性：60歳代 (N=190)	美術 15.8	歴史・郷土文化の調査・研究 10.0	音楽 7.9	演劇・演芸 4.2	45.3
	男性：70歳以上 (N=103)	歴史・郷土文化の調査・研究 10.7	美術 5.8	演劇・演芸 4.9	映像文化 3.9	41.7
	女性：20歳代 (N=118)	生活文化 26.3	美術 19.5	音楽 14.4	映像文化 11.0	35.6
	女性：30歳代 (N=146)	生活文化 26.7	美術 21.2	音楽 11.0	舞踊／映像文化 8.9	39.0
	女性：40歳代 (N=176)	生活文化 19.9	美術 14.2	音楽 9.1	映像文化 6.8	39.2
	女性：50歳代 (N=174)	生活文化 24.7	美術 14.9	音楽 10.3	歴史・郷土文化の調査・研究 9.2	39.7
	女性：60歳代 (N=192)	生活文化 21.4	美術 16.7	音楽 9.9	歴史・郷土文化の調査・研究 7.8	35.4
	女性：70歳以上 (N=124)	美術 12.9	生活文化 9.7	音楽／文芸 4.8		39.5

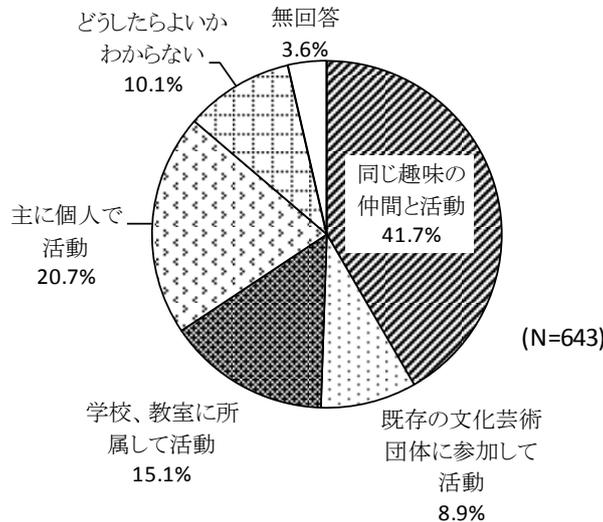
(3) 希望する活動形態

活動したい形態では「同じ趣味の仲間と活動」が4割を超え高い。  
活動意向はあるが「どうしたらよいかわからない」人も1割いる。

問 15 付問

問 15 (B) で 1~10 に 1 つ以上 ○ 印をつけた人に

どのような形で活動したいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】男性は女性に比べ「主に個人で活動」が、女性は「学校、教室に所属して活動」が男性より多くあげられている。

【年齢別】

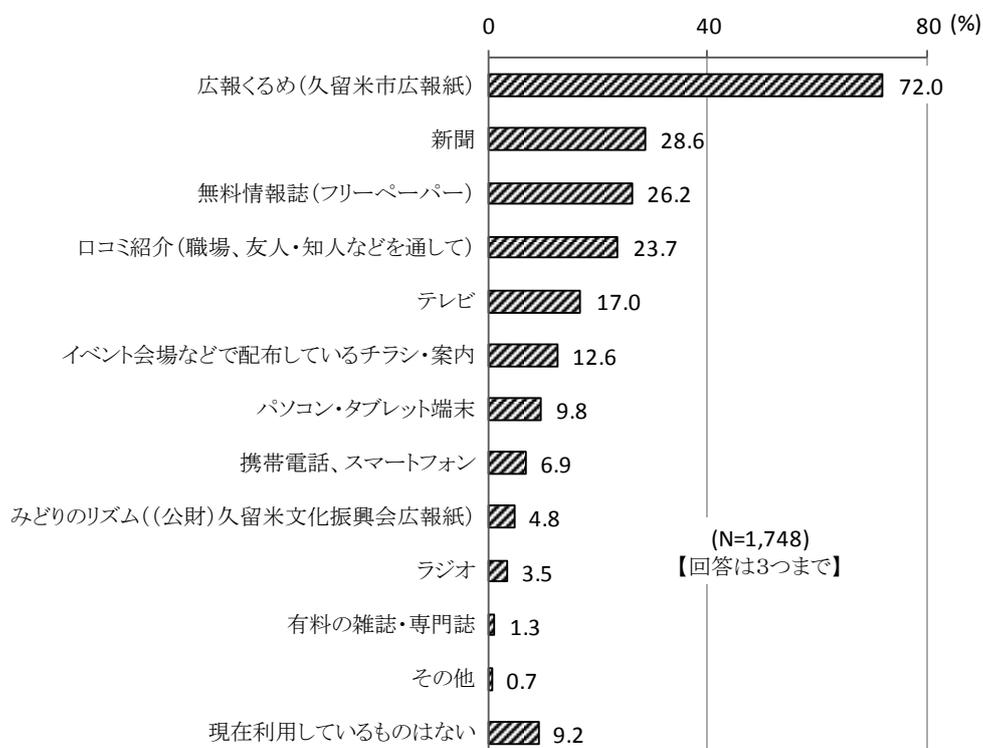
- ・70歳以上は「同じ趣味の仲間と活動」で5割強と高いが、「主に個人で活動」でも他の年齢層と比べ最も高い。
- ・「学校、教室に所属して活動」「どうしたらよいかわからない」の割合は30歳代で高い。

	標本数 (票)	希望する活動形態 (%)					
		活 動 同 じ 趣 味 の 仲 間 と	体 既 に 存 の 参 加 文 化 芸 術 団	し 学 校 、 活 動 教 室 に 所 属	主 に 個 人 で 活 動	わ ど う か ら し た ら よ い か	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 643)	41.7 ( 268)	8.9 ( 57)	15.1 ( 97)	20.7 ( 133)	10.1 ( 65)	3.6 ( 23)
性別							
男性	236	43.6	9.3	6.8	25.8	10.2	4.2
女性	407	40.5	8.6	19.9	17.7	10.1	3.2
年齢別							
20歳代	93	45.2	5.4	19.4	19.4	8.6	2.2
30歳代	110	32.7	4.5	23.6	21.8	15.5	1.8
40歳代	111	39.6	12.6	17.1	16.2	11.7	2.7
50歳代	119	37.0	11.8	14.3	21.8	10.9	4.2
60歳代	149	47.0	11.4	8.7	20.8	6.7	5.4
70歳以上	61	52.5	3.3	6.6	26.2	6.6	4.9

(4) 文化芸術活動に参加するための情報の入手方法

文化芸術の鑑賞や活動の情報源では「広報くるめ」が7割を超え高い。  
年代によって情報入手方法に大きな違いが見られる。

問 13 文化芸術の鑑賞や活動に参加するための情報をどのような方法で入手していますか。  
次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】「パソコン・タブレット端末」「テレビ」「新聞」では女性より男性の割合が高く、「口コミ紹介」「無料情報誌」「広報くるめ」では女性の割合が高くなっている。

【年齢別】

- ・すべての年齢層で「広報くるめ」が第1位となっていて、最も低い20歳代で5割強、年齢が上がるにしたがって高くなり、60歳代以上は8割を超えている。
- ・「無料情報誌」や「携帯電話、スマートフォン」「パソコン・タブレット端末」は若い年齢層の方が高く、「テレビ」や「新聞」は高い年齢層で高くなっている。

	標本数(票)	文化芸術活動に参加するための情報の入手方法 (%)													
		広報くるめ(久留米市広報紙)	みどりのリズム(公財)久留米文化振興会広報紙)	新聞	無料情報誌(フリーペーパー)	有料の雑誌・専門誌	パソコン・タブレット端末	携帯電話、スマートフォン	テレビ	ラジオ	職場、友人・知人などを通して)	口コミ紹介(職場、友人・知人などを通して)	イベント会場などで配布しているチラシ・案内	その他	現在利用しているものはない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	72.0 (1,258)	4.8 (84)	28.6 (500)	26.2 (458)	1.3 (22)	9.8 (172)	6.9 (121)	17.0 (298)	3.5 (61)	23.7 (414)	12.6 (220)	0.7 (12)	9.2 (161)	1.2 (21)
性別															
男性	818	69.4	2.8	30.2	22.7	1.2	12.1	7.5	18.0	4.3	19.9	11.2	0.5	11.1	1.5
女性	930	74.2	6.6	27.2	29.2	1.3	7.8	6.5	16.2	2.8	27.0	13.8	0.9	7.5	1.0
年齢別															
20歳代	225	54.2	2.7	8.0	33.8	1.8	16.4	22.2	16.9	2.2	23.6	12.4	0.4	13.8	0.4
30歳代	276	65.6	2.2	17.0	38.4	1.4	12.0	13.0	12.0	2.2	21.4	13.0	1.8	11.6	1.4
40歳代	323	69.3	5.0	25.4	31.0	1.5	13.0	6.8	13.0	4.0	22.3	12.4	0.9	10.2	1.2
50歳代	315	76.8	6.0	31.1	26.0	1.0	10.8	1.9	17.8	4.4	25.1	11.1	-	8.6	1.0
60歳代	382	80.1	6.3	41.9	18.1	1.3	6.0	1.0	19.9	3.4	25.4	11.8	0.8	6.0	1.0
70歳以上	227	80.6	5.7	41.9	11.0	0.4	1.3	1.3	23.3	4.4	23.8	15.9	-	6.6	2.2



●図4-8 性別、年齢別にみた文化芸術活動に参加するための情報源(上位6項目)

(%)

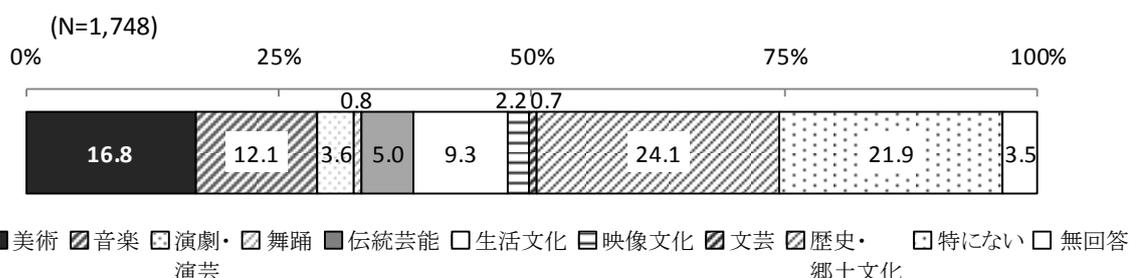
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	現在利用しているものはない
全体 (N=1748)		広報くるめ 72.0	新聞 28.6	無料情報誌 26.2	口コミ紹介 23.7	テレビ 17.0	配布チラシ・案内 12.6	9.2
性別	男性 (N=818)	広報くるめ 69.4	新聞 30.2	無料情報誌 22.7	口コミ紹介 19.9	テレビ 18.0	パソコン・タブレット端末 12.1	11.1
	女性 (N=930)	広報くるめ 74.2	無料情報誌 29.2	新聞 27.2	口コミ紹介 27.0	テレビ 16.2	配布チラシ・案内 13.8	7.5
年齢別	20歳代 (N=225)	広報くるめ 54.2	無料情報誌 33.8	口コミ紹介 23.6	携帯電話、スマートフォン 22.2	テレビ 16.9	パソコン・タブレット端末 16.4	13.8
	30歳代 (N=276)	広報くるめ 65.6	無料情報誌 38.4	口コミ紹介 21.4	新聞 17.0	携帯電話、スマートフォン 配布チラシ・案内	13.0	11.6
	40歳代 (N=323)	広報くるめ 69.3	無料情報誌 31.0	新聞 25.4	口コミ紹介 22.3	パソコン・タブレット端末/ テレビ	13.0	10.2
	50歳代 (N=315)	広報くるめ 76.8	新聞 31.1	無料情報誌 26.0	口コミ紹介 25.1	テレビ 17.8	配布チラシ・案内 11.1	8.6
	60歳代 (N=382)	広報くるめ 80.1	新聞 41.9	口コミ紹介 25.4	テレビ 19.9	無料情報誌 18.1	配布チラシ・案内 11.8	6.0
	70歳以上 (N=227)	広報くるめ 80.6	新聞 41.9	口コミ紹介 23.8	テレビ 23.3	配布チラシ・案内 15.9	無料情報誌 11.0	6.6

## 4-2 文化芸術のまちづくりのための取り組み

### (1) 特色を出したらよいと思う分野

「歴史・郷土文化」が約4分の1を占めて最も高く、「美術」、「音楽」がそれに続いている。

問 16 久留米市が、文化芸術によるまちづくりを進める上で、どのような分野に特色を出していくと良いと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



#### ◆属性別特徴

【性別】「美術」で女性の割合がやや高いものの、性別による大きな違いはみられない。

【年齢別】

- ・30歳代では他の年齢層と比較して順位の傾向に違いがみられる。
- ・「美術」は20歳代で高く70歳以上で低い。「音楽」は40歳代でやや高い。また、70歳以上では3割が「特にない」と回答している。

	標本数 (票)	久留米市が特色を出したらよいと思う分野 (%)										
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	文歴化史・郷土	特にない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	16.8 (294)	12.1 (211)	3.6 (63)	0.8 (14)	5.0 (87)	9.3 (162)	2.2 (38)	0.7 (13)	24.1 (421)	21.9 (383)	3.5 (62)
性別												
男性	818	14.9	11.2	3.3	0.6	4.6	9.2	2.6	0.6	24.4	24.7	3.8
女性	930	18.5	12.8	3.9	1.0	5.3	9.4	1.8	0.9	23.8	19.5	3.3
年齢別												
20歳代	225	22.7	14.7	1.8	1.8	1.8	8.9	2.2	3.1	23.1	17.8	2.2
30歳代	276	19.9	10.9	4.0	0.4	2.9	11.6	3.3	0.4	19.2	25.4	2.2
40歳代	323	14.9	15.5	4.0	0.6	5.6	10.8	2.2	0.6	23.8	20.1	1.9
50歳代	315	17.8	12.4	3.8	0.3	4.4	8.6	1.6	-	27.6	19.4	4.1
60歳代	382	16.5	10.7	2.9	0.8	6.5	9.7	2.1	0.5	25.4	20.2	4.7
70歳以上	227	9.3	7.9	5.3	1.3	7.9	4.8	1.8	0.4	24.2	30.8	6.2



●図4-9 性別、年齢別にみた特色を出したらよいと思う分野(上位7項目)

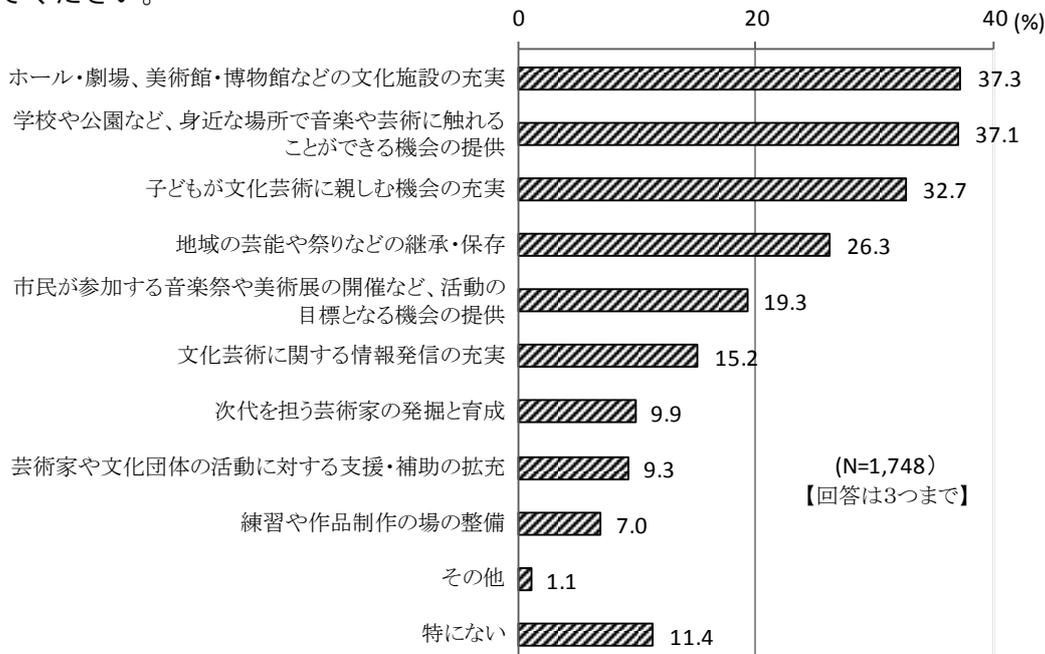
(%)

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	特にない
全体 (N=1748)		歴史・郷土文化 24.1	美術 16.8	音楽 12.1	生活文化 9.3	伝統芸能 5.0	演劇・演芸 3.6	映像文化 2.2	21.9
性別	男性 (N=818)	歴史・郷土文化 24.4	美術 14.9	音楽 11.2	生活文化 9.2	伝統芸能 4.6	演劇・演芸 3.3	映像文化 2.6	24.7
	女性 (N=930)	歴史・郷土文化 23.8	美術 18.5	音楽 12.8	生活文化 9.4	伝統芸能 5.3	演劇・演芸 3.9	映像文化 1.8	19.5
年齢別	20歳代 (N=225)	歴史・郷土文化 23.1	美術 22.7	音楽 14.7	生活文化 8.9	文芸 3.1	映像文化 2.2	演劇・演芸／舞踊／伝統芸能 1.8	17.8
	30歳代 (N=276)	美術 19.9	歴史・郷土文化 19.2	生活文化 11.6	音楽 10.9	演劇・演芸 4.0	映像文化 3.3	伝統芸能 2.9	25.4
	40歳代 (N=323)	歴史・郷土文化 23.8	音楽 15.5	美術 14.9	生活文化 10.8	伝統芸能 5.6	演劇・演芸 4.0	映像文化 2.2	20.1
	50歳代 (N=315)	歴史・郷土文化 27.6	美術 17.8	音楽 12.4	生活文化 8.6	伝統芸能 4.4	演劇・演芸 3.8	映像文化 1.6	19.4
	60歳代 (N=382)	歴史・郷土文化 25.4	美術 16.5	音楽 10.7	生活文化 9.7	伝統芸能 6.5	演劇・演芸 2.9	映像文化 2.1	20.2
	70歳以上 (N=227)	歴史・郷土文化 24.2	美術 9.3	音楽／伝統芸能 7.9		演劇・演芸 5.3	生活文化 4.8	映像文化 1.8	30.8

(2) 文化芸術のまちづくりのための取り組み

「ホールなど文化施設の充実」と「身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供」が4割近くを占めている。

問 17 久留米市が今後、文化芸術のまちづくりを進める上で、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」と「次代を担う芸術家の発掘と育成」の割合は男性の方がやや高いが、それ以外の項目は女性の割合が高く、特に「身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」や「文化施設の充実」でその差がやや大きい。

【年齢別】

- ・「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」や「身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」は30歳代で、「文化芸術に関する情報の発信」は50歳代で特に高い。
- ・「文化施設の充実」は40歳代、50歳代で、「活動の目標となる機会の提供」は60歳以上の年齢層でやや高くなっている。

	標本数 (票)	文化芸術のまちづくりのための取り組み (%)																				
		設の充	供の充	場所	学校	しむ	子ど	の目	市	整	練	の動	芸	掘	次	の地	発	文	そ	特	無	
		設の充	供の充	場所	学校	しむ	子ど	の目	市	整	練	の動	芸	掘	次	の地	発	文	そ	特	無	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	37.3 (652)	37.1 (648)	32.7 (572)	19.3 (337)	7.0 (123)	9.3 (162)	9.9 (173)	26.3 (459)	15.2 (265)	1.1 (20)	11.4 (200)	2.7 (47)									
性別																						
男性	818	35.2	33.1	31.8	19.2	7.0	8.4	11.2	26.7	13.7	1.3	14.3	1.8									
女性	930	39.1	40.5	33.5	19.4	7.1	10.0	8.7	25.9	16.5	1.0	8.9	3.4									
年齢別																						
20歳代	225	36.0	40.0	32.4	18.2	9.3	11.6	12.4	29.8	14.7	0.9	12.9	0.9									
30歳代	276	31.5	47.1	47.5	16.3	7.2	9.4	13.0	23.2	10.1	1.8	10.5	2.2									
40歳代	323	41.2	41.2	37.8	18.9	7.4	7.1	10.8	22.3	15.8	1.5	7.1	0.9									
50歳代	315	40.0	34.9	29.5	16.2	7.0	10.8	9.2	28.3	20.3	1.0	11.1	2.5									
60歳代	382	36.6	34.0	25.9	23.3	6.3	8.1	9.4	27.2	16.2	1.0	12.6	3.9									
70歳以上	227	37.4	24.2	23.8	22.0	5.3	9.7	4.0	27.8	11.9	0.4	15.9	5.7									

◆属性別特徴

【子どもの状況別】「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」は小学生以下の子どもがいる世帯で割合が高く、特に就学前の子どもがいる世帯では5割を超えている。「身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」は中学生以下の子どもがいる世帯で高く、「文化施設の充実」は中学生以上の子どもがいる世帯でやや高い。また、「文化芸術に関する情報発信の充実」は中学生以下以外の18歳未満の子どもがいる世帯で高くなっている。

	標本数(票)	文化芸術のまちづくりのための取り組み (%)															
		文化施設の充実	ホール・博物館・劇場の美術	会場の提供	身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会	学校や公園など、身近な場所での音楽や芸術に親しむ機会の充実	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	の提供	の提供	市民が参加する音楽祭	の練習や作品制作の場	補助の拡充	活動家や文化団体の支援	次代を担う芸術家の育成	地域の芸能や祭りの継承・保存	文化芸術に関する情報発信の充実	その他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,748)	37.3 (652)	37.1 (648)	32.7 (572)	19.3 (337)	7.0 (123)	9.3 (162)	9.9 (173)	26.3 (459)	15.2 (265)	1.1 (20)	11.4 (200)	2.7 (47)				
子ども世帯の中に就学前の子どもがいる	251	26.7	48.6	53.0	13.9	7.6	6.4	9.2	22.3	11.6	2.0	10.8	1.2				
子ども世帯の中に小学生がいる	215	35.3	48.4	48.4	13.5	7.0	6.5	8.8	21.9	13.0	1.4	7.4	1.9				
子ども世帯の中に中学生がいる	171	40.9	46.2	39.8	17.5	5.8	9.9	9.9	20.5	12.3	0.6	9.4	1.8				
子どもの状況別	176	40.3	39.8	36.9	15.3	4.5	8.5	9.1	23.9	20.5	0.6	8.5	2.8				
18歳未満の子どものいない	1,159	39.3	32.4	27.0	21.2	7.5	9.9	10.2	27.3	15.9	1.1	12.5	3.0				
無回答	15	26.7	46.7	26.7	6.7	-	-	20.0	33.3	6.7	-	6.7	-				

●図4-10 性別、年齢別、子どもの状況別にみた文化芸術のまちづくりに必要な取り組み(上位5項目)

		1位	2位	3位	4位	5位	特になし
全体	(N=1748)	文化施設の充実 37.3	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 37.1	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 32.7	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 26.3	活動の目標となる機会の提供 19.3	11.4
性別	男性 (N=818)	文化施設の充実 35.2	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 33.1	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 31.8	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 26.7	活動の目標となる機会の提供 19.2	14.3
	女性 (N=930)	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 40.5	文化施設の充実 39.1	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 33.5	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 25.9	活動の目標となる機会の提供 19.4	8.9
年齢別	20歳代 (N=225)	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 40.0	文化施設の充実 36.0	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 32.4	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 29.8	活動の目標となる機会の提供 18.2	12.9
	30歳代 (N=276)	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 47.5	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 47.1	文化施設の充実 31.5	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 23.2	活動の目標となる機会の提供 16.3	10.5
	40歳代 (N=323)	文化施設の充実/身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 41.2		子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 37.8	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 22.3	活動の目標となる機会の提供 18.9	7.1
	50歳代 (N=315)	文化施設の充実 40.0	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 34.9	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 29.5	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 28.3	文化芸術に関する情報発信の充実 20.3	11.1
	60歳代 (N=382)	文化施設の充実 36.6	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 34.0	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 27.2	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 25.9	活動の目標となる機会の提供 23.3	12.6
	70歳以上 (N=227)	文化施設の充実 37.4	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 27.8	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 24.2	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 23.8	活動の目標となる機会の提供 22.0	15.9
子どもの状況	就学前の子どもがいる (N=251)	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 53.0	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 48.6	文化施設の充実 26.7	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 22.3	活動の目標となる機会の提供 13.9	10.8
	小学生がいる (N=215)	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 48.4	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 48.4	文化施設の充実 35.3	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 21.9	活動の目標となる機会の提供 13.5	7.4
	中学生がいる (N=171)	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 46.2	文化施設の充実 40.9	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 39.8	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 20.5	活動の目標となる機会の提供 17.5	9.4
	上記以外の18歳未満の子どものいない (N=176)	文化施設の充実 40.3	身近な場所で音楽や芸術に触れる機会の提供 39.8	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実 36.9	地域の芸能や祭りなどの継承・保存 23.9	文化芸術に関する情報発信の充実 20.5	8.5

## 考 察 — 文化芸術 —

### ●文化芸術の鑑賞や活動における経験と意向

近年、交通手段の発達や情報化並びに国際化が進む中、国内のみならず国境を越えた経済競争が活発になり、経済性や効率性を優先する考え方が根強くある。また一方では、価値観の変化や多様化にともない、心の豊かさ、生活のうらおい、個性や創造性が大切であるという考え方を持つ人々も少なくない。文化芸術は、人々の豊かな感性や情緒、創造性を育み、教育・福祉・経済などの面でも大きな役割を果たすものであり、その振興が望まれる。平成13年、国では「文化芸術振興基本法」が制定され、平成14年には「文化芸術の振興に関する基本的な方針」が示された。全国の地方自治体でも、同様の文化芸術振興の取り組みが行われるようになってきている。久留米市では平成18年に「久留米市文化芸術振興条例<sup>1)</sup>」を制定し、平成19年に「久留米市文化芸術振興基本計画<sup>2)</sup>」(以下、「基本計画」という)を策定し、様々な施策が実施されている。また、この基本計画の最終年度が平成26年度であり、新しい基本計画の準備が進められている中、この章ではその「基本計画」と関連づけながら考察を行いたい。

まずは市民の文化芸術における鑑賞の経験と意向についてみてみよう。1年間程度の間には鑑賞した経験では、1位が「映像文化」(29.5%)、2位が「美術」(26.4%)、3位が「音楽」(21.7%)となっている。今後の鑑賞意向では、上位3項目は同じ項目であるが順位は入れ替わっており、1位が「美術」(30.1%)、2位が「音楽」(29.4%)、3位が「映像文化」(27.7%)となっている。また、4位の「演劇・演芸」は26.9%あり、上位3項目と近い値になっている。今後の鑑賞意向が高い項目において、より多くのイベントの提供とそのイベントの告知に力を入れると一定数の参加者が確保できるだろう。また、「演劇・演芸」や「伝統芸能」や「音楽」のように鑑賞経験の割合より今後の鑑賞意向の割合が大きい項目では、鑑賞したいと思っているが鑑賞できていない人が多いということが推測できることから、参加したいと思っている人が参加しやすくなる仕組みをつくることによって参加者の増加が見込めるだろう。

鑑賞の経験と意向についてより掘り下げてみてみよう。性別でみると、ほとんどの項目で経験と意向ともに女性の割合が高くなっている。男性は「最近1年間に鑑賞したものはなし」と「今後鑑賞してみたいものはなし」において女性より割合が高くなっている。これらのことより、久留米市の文化芸術における鑑賞の面では女性が積極的であると言える。

前述の「基本計画」の理念として「市民が担い手(主体性の尊重と市民協働)」と「一人ひとりが輝く(個性の尊重と市民参加)」という2つの理念が掲げられており、この理念を実現するためには、鑑賞経験がある人の増加だけでなく活動経験がある人の増加が重要である。そこで、次に文化芸術の活動経験についてみてみよう。活動経験では、「最近1年間に活動したものがなし」人が7割を超えている。今後の活動意向では、「美術」、「生活文化」、「音楽」が上位となっている。

活動の経験と意向をさらに掘り下げてみてみよう。性別で経験をみると、ほとんどの項目で女性の割合が高く、意向でみると、「生活文化」、「美術」など6項目で女性の割合が高くなって

<sup>1</sup> [http://www.city.kurume.fukuoka.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/q005RG00000925.html](http://www.city.kurume.fukuoka.jp/reiki_int/reiki_honbun/q005RG00000925.html)

<sup>2</sup> <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2030bunka/3020shingikai/files/2008-0613-0909.pdf>

いる。男性は「最近1年間に活動したものはなし」で7割を超え、「今後活動してみたいものはない」が5割と、女性より10ポイント以上高くなっている。これらのことより、久留米市の文化芸術において活動面でも女性が積極的であることがわかる。

今後は、鑑賞・活動の両面で、割合が低い男性をどのように巻き込んでいくのかを検討していくべきだろう。

### ●希望する活動形態と参加するための情報の入手方法

では、活動したいと思っている人は、どのような形で活動することを望んでいるのだろうか。今回の調査では「同じ趣味の仲間と活動」が4割を超え高くなっている。小さなグループでも使える施設の案内等の同じ趣味の仲間との活動をしやすい環境づくりが望まれる。活動意向はあるが「どうしたらよいかわからない」人も1割いる。「どうしたらよいかわからない」人に対して、参加するための方法（団体・教室等への参加方法、団体設立方法等）の情報発信が重要になってくるだろう。

文化芸術の鑑賞や活動の情報源では「広報くるめ」が7割を超え高くなっている。「広報くるめ」は情報源の中で一番多く利用されており、広い層にアピールできる情報発信手段だと言える。「広報くるめ」は、幅広い層で突出して多く利用されているとは言え、発行間隔が半月であることや掲載スペースが制限されていること等もあり、十分とはいえない。二番目に多く利用されている「新聞」(28.6%)は、毎日発行されており素早く情報を発信できる。三番目に多く利用されている「無料情報誌」(26.2%)は、若年層に多く利用されており、若年層にアピールできる。このように、それぞれの媒体には特徴があり、それらの媒体を組み合わせたり、使い分けたりすることによって、より効果的な情報発信ができるだろう。また、上位の「広報くるめ」、「新聞」、「無料情報誌」に掲載されるためには、それぞれの媒体に応じた手順（依頼期限、後援、内容等）があり、久留米市の文化芸術団体にこれらの情報源に掲載されるスキルを適切にアドバイスする機会を設けると、より文化芸術団体の活動が活発になるのではないだろうか。

### ●文化芸術のまちづくりのための特色と取り組み

文化芸術によるまちづくりを進める上で、どのような分野に特色を出していくとよいのだろうか。特色を出したらよいと思う分野として「歴史・郷土文化」が回答の約4分の1を占めて最も多く、「美術」、「音楽」がそれに続いている。

また、文化芸術のまちづくりを進める上で、特にどのようなことに力を入れるべきだろうか。その取り組みとして、「ホールなど文化施設の充実」と「身近な場所で音楽や芸術に触れることができる機会の提供」が回答の4割近くを占めている。この結果から、大人数収容可能な施設への期待と同時に、少人数でも気軽に参加できるイベントも期待されていることが推測できる。現在整備計画が進んでいる久留米シティプラザの充実とその他の文化施設との連携、さらに、学校や公園等のより身近な場所でイベントを実施しやすくする仕組みづくり等がそうした期待に対する有効な手段であると思われる。

### ●愛着を育むための有効な手段としての文化芸術

ここで、第3章「観光」で言及した久留米市への愛着との関係を考察する。3章では「久留米市への愛着の有無別にみた観光の振興のための取り組み」において、愛着がある人では、ソフト面（観光情報発信、観光資源の発掘と活用）で関心が高く、愛着がない人ではハード面（交

通アクセスの向上、宿泊施設整備)で関心が高くなっていた。

「久留米市への愛着の有無別にみた文化芸術のまちづくりのための取り組み」において、愛着がある人では、地域の芸能や祭りなどの継承・保存、活動の目標となる機会の提供、文化芸術に関する情報発信、文化施設の充実に対する関心が高く、愛着がない人では子どもが文化芸術に親しむ機会の充実、文化団体活動に対する支援への関心が高くなっていた。観光では、愛着の有無により、ハード面とソフト面のどちらの意向が強いのか、はっきりと分類できたが、文化芸術では、愛着がある人については、ハード面(文化芸術施設)とソフト面(文化芸術情報

◆久留米市への愛着の有無別にみた文化芸術のまちづくりのために力を入れるべき取り組み

	標本数(票)	文化芸術のまちづくりのための取り組み(%)													
		設・ホ の博 充物 実館 な の 文 化 施 館	供 る こ と が で き る 機 会 の 提 供	場 所 や 音 楽 や 芸 術 に 触 れ な い	学 校 や 公 園 な ど、 身 近 な 機 会 の 充 実	し む こ も が 文 化 芸 術 に 親 し む 機 会 の 充 実	の 美 術 展 の 開 催 な ど、 活 動 の 提 供	市 民 が 参 加 す る 音 楽 祭 り や 活 動 の 提 供	整 備 や 作 品 制 作 の 場 の 充 実	の 動 機 や 支 援 の 補 助	芸 術 家 や 文 化 団 体 の 活 動 の 支 援	掘 と 担 う 芸 術 家 の 発 見	の 地 域 の 芸 能 や 祭 り な ど の 継 承 ・ 保 存	文 化 芸 術 に 関 する 情 報 の 充 実	そ の 他
全 体 (カ ッコ 内 は 標 本 数)	100.0 (1,748)	37.3 ( 652)	37.1 ( 648)	32.7 ( 572)	19.3 ( 337)	7.0 ( 123)	9.3 ( 162)	9.9 ( 173)	26.3 ( 459)	15.2 ( 265)	1.1 ( 20)	11.4 (200)	2.7 ( 47)		
の へ 久 留 米 市 に 関 心 が あ る 人	1,390	39.5	38.8	33.9	20.6	7.6	9.3	10.3	28.7	16.2	1.2	8.3	2.7		
の へ 久 留 米 市 に 関 心 が あ ら な い 人	231	26.4	27.7	21.6	13.9	5.2	8.2	7.4	18.6	11.3	0.9	26.4	3.5		
の へ 久 留 米 市 に 関 心 が あ ら な い 人	111	33.3	35.1	41.4	13.5	4.5	12.6	7.2	11.7	10.8	1.8	19.8	0.9		
の へ 久 留 米 市 に 関 心 が あ ら な い 人	16	31.3	31.3	31.3	25.0	6.3	-	31.3	25.0	12.5	-	6.3	6.3		

発信、市民が参加する文化芸術イベント)に対する関心が混在しており、愛着がない人については、ソフト面(子どもが文化芸術に親しむ機会、文化団体活動支援)のみに関心が偏っており、観光とは異なる結果がでた。特に愛着がない人について、「基本計画」の2つの理念である「市民が担い手(主体性の尊重と市民協働)」と「一人ひとりが輝く(個性の尊重と市民参加)」に繋がるような「文化団体の支援」への関心が高くなっていた。一見、久留米市に愛着がある人が、次代の担い手となる市民を育てる「子どもが文化芸術に親しむ機会」や市民活動をやすくする「文化団体活動支援」に、より力を入れるべきだと思いきや、逆の結果がでた。

愛着と文化芸術の関係について、「愛着がある人が多くなると文化芸術が盛んになる」というより、どちらかというと「文化芸術が盛んになると愛着がある人が多くなる」と解釈できる。この解釈で今回の調査をみると、愛着がない人も文化芸術が盛んになることを望んでおり、文化芸術の中でもソフト面、さらに人に関わる面に力を入れて欲しいと思っていると推測できる。これらの推測より、文化芸術において人に関わる面に力を入れると文化芸術が盛んになるだけでなく、愛着のない人が愛着を持つようになる可能性がある。2章と3章では愛着が重要であると言及したが、その愛着を育むための有効な手段として文化芸術の振興が期待される。